

神居まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度第2回

会議概要	
日時	令和7年8月21日(木曜日)午後6時00分から午後6時40分まで
場所	神居公民館大会議室
出席者	委員9名（正副会長以外は五十音順） 小平会長、三本副会長、大河委員、笹野委員、中島委員、永田委員、楡委員、林（華）委員、村田委員 （欠席者 赤間委員、荒木関委員、長谷川委員、林（和）委員、美浪委員、松浦委員） 事務局 神居支所 佐瀬支所長、成田副支所長、中西 神居公民館 山本館長
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	3名
会議資料	次第
	資料1 神居まちづくり推進協議会委員名簿

※本文では、「神居まちづくり推進協議会」を「神居まち協」と表記する。

1 開会

事務局から、欠席者の報告、配付資料の確認を行った。

2 学生紹介

授業の一環で、旭川市立大学の学生が秋の事業に参加協力したい旨の報告があった。

3 協議事項

(1) 神居地域のまちづくりの検討と推進について

ア ふれあい子ども広場事業について

7月20日（日曜日）に開催されたふれあい子ども広場事業の報告や意見交換が行わ

れた。

各委員等の主な発言概要は、次のとおり。

(会長) 7月20日に夏まつりインカムイで開催したふれあい子ども広場事業について振り返りたい。参加した委員や事務局から開催についての意見があれば、報告をお願いしたい。

(委員) 資料1の通り、大変暑い中であつたが、事務局、まち協委員が協力しながら、うまく運営できたと思う。去年と違った内容でうちわ作り、スライム作りのワークショップを実施したが、自分としては、うちわはもちろんだが、スライム作りにたくさん人が集まっていたのが印象的であつた。集中する時間もあつたため、待ち時間の発生やうまく案内できなかったところもあるので、そういった部分は来年に向けて改善する点ではあると思う。2年目の事業だったため、ある程度スムーズに行えたと思う。

(委員) うちわ作りを担当した。ポス力を使って時間をかけて塗る子もいれば、小さい子は用意していたシールをたくさん貼る子もいて、思い思いのうちわを作っていた。たくさんの参加者が楽しんでいただけたと思う。

(事務局) スライム作りを担当していたが、うまくスライムになる材料の配分が難しく、固くなったり、絵の具を入れすぎて、そもそもスライムにならなかったりと大変であつたが、どのようなものができあがっても、子どもたちは楽しそうであつたので、やって良かったと思う。

(委員) 集客については、まち協だけでは難しいところもあるため、去年と同様に夏まつりインカムイ内でブースを作れたことが大きいと思う。事業も2回目であるので、協力してスムーズに運営できたと思う。

(副会長) スライムってどんなものかわからなかったが、当日は子どもたちが殺到していて、楽しそうにできてよかった。

(委員) 今回まち協で開催する事業に初めて参加したが、委員、事務局が協力しながら、運営している姿が印象に残った。地域の子もたちがたくさん来ており、大変楽しそうな様子を見ることができてよかった。

(会長) 今回も夏まつりインカムイ内でブースを出すことができた。地域のおまつりとしての集客力があるため、そこに参加できていることで、まち協のブースについても大変賑わったのかと思う。参加した子どもたちに聞いても、来年も来たいという子がとても多かった。

イ カムイ子ども広場事業について

1 0月開催予定の事業についての報告が行われた。

(会長) 秋の事業について、検討を進めていきたい。事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 委員から秋の事業についての提案があった。その中から事業内容を決めていくため、小委員会を実施した。その結果、ハロウィンにちなんだワークショップを設置し、ハロウィンパーティを実施してはどうかという話でまとまった。

(会長) 事務局からの説明があったとおりの内容で、開催に向けて進めていくということでもいいだろうか。

※ 委員からの異議なし

(会長) 賛同いただけただので、こちらの内容で秋の事業について検討を行っていききたいと思う。

(3) その他

次回開催は、1 1月頃を予定し、日程含めて調整しながら、後日決定することとした。

4 閉会